

今月の御教え

願う心は神に届くものである。天地金乃神は、くもが系を世界中に張ったのと同じことである。系にとんぼがかかればぴりぴりと動いて、くもが出て来る。神も同じことで、空気の中にずっと神の道がついているから、どれほど離れていても、拝めばそれが神に届く。

……「天地は語る」第二十一条……

解説

教祖金光大神様は、天地の親神様の無限の御威徳、御働きを、私達によく分かって下さっているのがあります。教祖金光大神様にとっては、この大いなる天地宇宙を司る天地金乃神様の存在は、手に取るように分かれ、身近に感じられていた事として、このご理解は、その事を私達に「早く気付いてくれよ！」との思いが滲み出ている“御教え”であるように思えます。

故に、私達信奉者は、日々の信心の向上に勤め精進して、この教祖金光大神様の思いを十分に感得させて頂きたいものであります。

尚、今月は本部広前生神金光大神大祭の御比礼を頂き全国各地の教会において生神金光大神大祭が仕えられます。皆様共々に一層、信心の稽古に勤しみ大御蔭を頂きましょう。